

平成27年度（第5事業年度）

事業報告及び附属明細書(案)

自 平成27年 4月 1日

至 平成28年 3月31日

公益財団法人 日本女性学習財団

I. 公益目的事業

生涯学習の振興及び活性化支援事業

平成 27 年度は、本財団の目的である「男女共同参画社会の形成に資する生涯学習及び次世代育成の振興に寄与する」事業の円滑なる進展を図るため、国内外の動向を踏まえた最新の情報提供に努めるとともに、事業領域・内容の工夫、広報活動の強化、関係機関・団体との協力連携を通し、当面する諸課題について各学習事業、管理運営、その他の事務を遂行した。

特に、「キャリア人財プラットフォーム」設立に向けて、その核となる公益財団法人日本女性学習財団認定キャリア形成支援士を養成し、その交流と活動を支援することに注力した。

1. 研究調査

(1) 女性の教育・学習活動史研究

趣旨：男女共同参画社会の実現に向けた実践や研究を自らの視点でまとめたレポートを募集し、「日本女性学習財団賞」として優秀作品を表彰した。なお、「日本女習財団賞」受賞レポートは、広く公開している。

委員：足立則夫（委員長）、渥美由喜、金子幸子、倉持伸江、村松泰子

内容：a. 委員会（2回）

第1回：4月3日、第2回：11月13日（選考委員会）

B. 財団賞応募のための説明会

日時：6月20日 参加者：4人

c. 応募レポート数 19篇

奨励賞2篇、選考委員特別賞2篇を選考

d. パネルフォーラム（選考結果報告会）2016年3月5日

場所：財団大会議室 参加者：21人

内容：贈呈式と受賞者・選考委員によるトークセッション

e. 記録集『学びがひらく vol.5』平成28年2月発行

制作部数：500 定価：953円＋税

(2) 東日本大震災復興支援事業

趣旨：東日本大震災に関連する記録を収集すると共に、ホームページ上で毎月、“被災地の女性・妊産婦・子ども支援”に関する情報を発信していく。また、男女共同参画と災害・復興ネットワーク（JWDRR、代表：堂本暁子）と共同で、「カタールフレンド基金」の助成を受け、災害に強い世界の構築に向けた政策提言と人材育成プロジェクトを実施した。

カタールフレンド基金プロジェクト

期間：平成26年10月～平成27年6月（最終報告書9月11日付）

6階オフィス We learn 内に事務局開設（事務局長：大野 前理事長）

内容：平成27年3月開催の「第3回国連防災世界会議」に向けての政策提言活動、世界会議のサイドイベントの実施、および日本における防災に関する人材育成プログラムの作成

- a. 「第3回国連防災世界会議を経て女性の力で変革を～男女共同参画と災害リスク削減～」 報告会

日時：6月18日 参加者：130人
場所：東京ウィメンズプラザホール

b. 平成27年度NVEC「男女共同参画フォーラム」ワークショップ

女性の力で変革を！ 男女共同参画の視点に立った防災～市民ができること・
行政に求めること～

日時：8月20日 参加者：62人
場所：NVEC研修棟 大会議室

結果：事業活動成果物、事業効果検証結果いずれも当初の目標を達成し、最終結果報告書をカタール国大使館へ提出完了。

2. 人材育成事業

(1) 公益財団法人日本女性学習財団認定キャリア形成支援士養成

趣旨：働く女性・働きたい女性をサポートする方を「キャリア形成支援士」として認定するための養成講座を実施した。また、「キャリア人財プラットフォーム」の設立に向けて、この核となる「キャリア形成支援士」の交流と活動を支援した。

内容：① (公財) 日本女性学習財団キャリア形成支援士認定

日時：第2期養成講座 5月16日

講師：福沢恵子、治部れんげ 認定者：25人

第3期養成講座 11月8日

講師：福沢恵子、村松泰子 認定者：25人

② 支援士交流会

日時：第1回 6月27日 参加者：10人

第2回 10月24日 参加者：7人

③ 支援士ブラッシュアップ講座

第1回 日時：9月12日 参加者：8人

タイトル：女性のキャリア形成支援のためのファシリテーションスキル

講師：森山貴代、佐藤茂典

第2回 日時：12月12日 参加者：7人

タイトル：多様な女性に寄り添うために～「わたしのキャリア支援」を見直す～

講師：丸山聖子、米山麻以子

第3回 日時：2月13日 参加者：16人

タイトル：女性の活躍推進を阻む要因はなにかー『職務格差』著者と考えるワークショップ

講師：大槻奈巳

④ 支援士企画協働事業

第1回募集 応募企画 2件、採用企画 1件

第1回 日時：10月24日 参加者：35人

タイトル：『Girl Rising～私が決める、私の未来～』上映会

講師：久永美砂 (第1期キャリア形成支援士)

協働先：プラン・アカデミー第3期メンバー

協力：(公財) プラン・ジャパン

第2回募集 応募企画 2件、採用企画 2件

第2回 日時：2月13日 参加者：20人

タイトル：自分にご褒美！ 女性のキャリア応援バレンタインコンサート
講師：遠藤雅子（第2期キャリア形成支援士）、秋元みすず／足立佳之（はなうり）

協働先：遠藤雅子&テノール・ソプラノデュオ*はなうり*

第3回 日時：3月19日 参加者：13人

タイトル：私たちの選択と決断－離婚経験者の視点から考える、
シングルマザー支援

講師：月川涼子（第1期キャリア形成支援士）、田中志保（Linkers Shizuoka）

協働先：Linkers Shizuoka

（2）子育て支援者育成講座

（NPO 法人東京学芸大こども未来研究所と共催）

趣旨：財団のこれまでの成果を活かし、子育て支援に携わる人を対象に、子育て支援事業の充実・発展を図るための支援者育成講座を開催した。

内容：a. タイトル：子育て支援パワーアップセミナー 今だから！地域でいかそう、
あなたのチカラ（こどもパートナー認証講座）

b. 対象：子育て支援やまちづくりに携わる方

c. 講師：安部芳絵、鈴木聡、米田佐知子

d. 日時：8月20日 参加者：19人

（3）シェアオフィス・バーチャルオフィス運営「オフィス We learn」

趣旨：現在女性が起業するにあたって、活動拠点となるオフィスの確保が障壁の一つとなっており、女性専用シェアオフィス・バーチャルオフィスを設置することで女性の自立を支援する。日本女子会館の新しい事業形態の構築を目指す実験プログラム。

対象：起業を目指す女性、都心に事務所を必要としている女性起業家等、働く女性及び女性が代表を務める法人

会員種別：正会員、法人会員、デイリー会員、イブニング会員、バーチャル会員

定員：30人

現在会員数：正会員；1名、法人会員；1団体、デイリー会員；5名、
バーチャル会員；1名

3. 情報提供

（1）月刊「We learn」発行

趣旨：男女共同参画の普及啓発のための専門情報誌として女性の生涯学習及び次世代育成の全国的・国際的な課題を明らかにし、研究及び実践事例に関する情報を収集・提供する。今年度は、女性活躍推進の取り組み、活動事例を紹介する他、女性のキャリア形成支援に役立つ情報を提供した。

① 総発行部数 13,200部

(1,200部/月、年11回発行)

② 販売部数 4,759部 贈呈・交換部数 3,773部

事業配布 900部

③ 特集テーマ

平成 27 年 4 月号	女性の生涯にわたるキャリア形成
5 月号	子育て支援の“いま”
6 月号	均等法制定から 30 年
7 月号	女性の貧困と自立
8 月号	平和構築と女性
9 月号	女性とメディアのいま
10 月号	性の多様性を考える
11・12 月号	女性への暴力と支援—DV防止法制定 15 年
平成 28 年 1 月号	書くこと、行動すること
2 月号	共生社会に歩む男性たち
3 月号	女性たちがつくる復興への道

(2) ホームページによる情報提供

ホームページ・フェイスブックでタイムリーに財団主催事業を中心とした情報提供をした。ホームページアクセス数：平成 27 年度 52,257 件(前年度 52,681 件)

(3) パネル等普及啓発資料の作成・普及

① パネルの貸出

貸出件数：12 件 購入件数：2 件

② 東京ウィメンズプラザフォーラムへの展示参加

11 月 6 日、7 日開催の東京ウィメンズプラザフォーラムにて財団紹介パネル展示を実施

(4) 資料の整備・情報公開

① ホームページの充実

当財団の事業については、適宜事業案内・報告を財団ホームページに掲載し、その内容を公開した。また、フェイスブックを用いて、タイムリーな情報提供に努めた。

② ぶっく・とーくの開催

第 13 回 7 月 9 日 『ヌードと愛国』

話し手：池川玲子 聞き手：村松泰子 参加者 17 人

第 14 回 『レンアイ、基本のキ』

日時：3 月 22 日 話し手：打越さく良 参加者 14 人

4. 関係諸団体との連携支援

女子会館内団体との情報交換を行った他、国際婦人年連絡会・全国女性会館協議会・社会教育団体振興協議会、男女共同参画と災害・復興ネットワーク等に加え・連携して、全国的・国際的な活動に参画・参加するとともに、全国各地からの要望に応じて連携・支援を行った。

① 講演会「フェミニストライブラリと女性アーカイブ」

(図書館員のキャリア研究フォーラムとの共催)

日時：11 月 7 日 参加者：25 人

②関連団体の会議への参加

- a. NPO 法人全国女性会館協議会：総会出席（学習事業課員）
全国大会出席（学習事業課員）
- b. 国際婦人年連絡会：総会、全体会、NGO 日本大会実行委員会他（学習事業課長）
NGO 日本大会（理事長、学習事業課長、学習事業課員）
- c. 社会教育団体振興協議会：総会、幹事会他（常務理事）
- d. 男女共同参画と災害・復興ネットワーク ワーキンググループ（理事長）

③団体・自治体等への職員等派遣

- 6月6日 世田谷区男女共同参画センター「平成27年度区民企画協働事業」
審査会 審査委員（学習事業課長）
- 9月25日 第25回全国女性建築士連絡協議会 来賓挨拶（理事長）
- 11月16日 大田区 エセナおおた講師（学習事業係長）
- 11月18日 国立市 国立市公民館講師（学習事業係長）
- 3月14日 （独）国立女性教育会館 女性教育情報センター資料収集委員
（学習事業課長）

(3)生涯学習等公益事業を行う非営利団体に活動拠点を提供し支援する事業

生涯学習や男女共同参画社会の発展のため活動している団体支援事業として日本女子会館の施設を低料金で賃貸している。平成27年度は6団体、約216坪と変動がなかった。

対象団体と面積は以下のとおりである。

	テナント名	階	坪
1	公益社団法人 長寿社会文化協会	1階	45.29
2	特定非営利活動法人 全国女性会館協議会	1階	5.73
3	一般社団法人 農山漁村女性・生活活動支援協会	4階	17.41
4	特定非営利活動法人 市民福祉団体全国協議会	4階	22.89
5	公益財団法人 さわやか福祉財団	7階	109.76
6	一般社団法人 国際女性教育振興会	8階	14.09
	計		215.17

II. 収益事業

平成27年度の収益事業収入は104,237,268円、経常費用支出は45,864,738円であり、収支は58,372,530円となり、前年度収支と比較し8,452,670円のプラスであった。

公益目的事業会計、法人会計を含む経常収支は、収入:152,670,588円、支出:141,423,253円、収支:11,247,335円となり、前年度収支と比較し7,194,186円のプラスであった。今後、修繕費の増加が予想されるので、引き続き次年度へ向けて、備品消耗品等の日常経費、ビル事業の諸経費等の削減を進めていく。

なお、費用支出総額のうち公益目的事業の占める割合は61.95%で、50%を超えているため公益財団法人としての基準を満たしている。

1. 日本女子会館建物の賃貸事業

(1) 入居テナントの館内移転

平成 28 年 3 月 31 日に(一社)農山漁村女性・生活活動支援協会が 4 階「事務室 2」15.48 坪を解約し、4 月 1 日より 4 階「事務室 6」12.39 坪へ移転し、新契約は定期建物賃貸借契約とした。

(2) 空室状況

期首に満室であったが、平成 28 年 4 月 1 日に 16.46 坪(共用部按分込み)の空室が生じる。原状回復工事が 5 月中旬に完了するので、6 月以降極力早期に空室解消するようテナント募集活動を行う。

(3) 契約更新・再契約状況

平成 26 年 12 月より普通賃貸借契約テナント 3 件の更新に伴う賃料改定協議を行い、1 件は合意ができたが、2 件については現在も協議進行中である。

定期建物賃貸借契約テナントの契約状況は、平成 28 年 4 月、6 月、9 月に契約期限となるテナント 5 件に対して契約終了通知及び再契約の条件提示を行い、4 件については、既に再契約の申込書を受領した。

2. 日本女子会館の維持経営

(1) 日本女子会館建物の維持管理

平成 27 年度より建物設備更新積立資産の増額を行い、計画的に建物老朽化対策を進めており、今年度も継続して老朽化に起因する直接的に被害をもたらす恐れのある案件を最優先事項として対応している。空調設備については、設置後 20 年を目安に運転状況をふまえて更新について判断することとし、水廻りの設備、器具・機械については、経年劣化による突然の作動/機能不良等による二次被害が想定されるため、基本的に耐用年数を根拠とする計画的更新を進めている。

平成 27 年度は、電気設備、空調設備、トイレ設備、照明器具に関連する工事を主として、電力量計更新、地階屋内排水溝新設、湧水ポンプ更新、玄関自動ドア駆動部更新、4 階貸室の空調機新設、屋内消火栓ホース更新、その他更新・修繕を行った。

(2) (新)日本女子会館ビル調査検討のためのワーキンググループ

平成 24 年 8 月 30 日に第 1 回委員会開催後、平成 27 年度は 4 月、8 月、1 月と全 3 回開催した。他の施設見学を行い、様々なビルの用途について検討を行った。また、周辺地域開発の動向、オリンピックに向けた建設業界の現状等の情報収集を行い、公益法人としての要件や、その他の問題点等について広範囲な議論を行った。

Ⅲ. 管理部門

1. 理事会

開催日/場所	議題・報告事項	審議結果
第1回理事会 平成27年5月25日 日本女子会館	議題 (1)平成26年度事業報告書(案)について (2)平成26年度収支決算書(案)について (3)任期満了の伴う理事、監事候補者名簿を評議員会に提案することについて (4)平成27年度定時評議員会の日程及び議案について 報告事項 (1)(新)日本女子会館ビル調査検討のためのワーキンググループについて	承認 承認 承認 承認
平成27年6月24日 書面による同意	提案(提案者:代表理事 村松泰子) (1)藤井俊一を業務執行理事に選任する	承認決議
第2回理事会 平成27年10月2日 日本女子会館	議題 (1)平成27年度上半期事業の実施状況について (2)特定個人情報取扱規程策定について 報告事項 (1)(新)日本女子会館ビル調査検討のためのワーキンググループについて	承認 承認
第3回理事会 平成28年3月25日 日本女子会館	議題 (1)平成28年度事業計画(案)について (2)平成28年度収支予算書(案)について (3)賛助会員制度導入について (4)謝金規程の改定について 報告事項 (1)謝金規程の改定について (2)(新)日本女子会館ビル調査検討のためのワーキンググループについて	承認 承認 承認 承認

2. 評議員選定委員会

開催日/場所	議 題	審議結果
評議員選定委員会 平成 27 年 4 月 24 日 日本女子会館	議題 (1)評議員の任期満了につき改選について	承認

3. 評議員会

開催日/場所	議 題	審議結果
定時評議員会 平成 27 年 6 月 24 日 日本女子会館	議題 (1)平成 26 年度事業報告及び決算書の承認について (2)理事及び監事の任期満了につき改選について 報告事項 (1)平成 27 年度事業計画及び収支予算書について (2)(新)日本女子会館ビル調査検討のためのワーキンググループの審議概要 (3)評議員選定委員会 審議結果について	可決承認 可決承認
平成 27 年 6 月 24 日 書面による同意	提案(提案者：代表理事 村松泰子) (1)門脇厚司を評議員長に選任する	承認決議

事業報告の附属明細書

平成 27 年度事業報告には、「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので、定款第 11 条(2)に規定する事業報告の附属明細書は作成しない。